

令和8年9月号

「ふくすいき ~福水企~」通信



企業団キャラクター
ピユタくん

この「ふくすいき~福水企~」通信は、福岡地区水道企業団、各構成団体などの情報交換のために毎月発行しています。

発行：福岡地区水道企業団 総務課
福岡市南区清水四丁目 3-1
TEL 092-552-1731(代)

■ 企業団・構成団体の動き

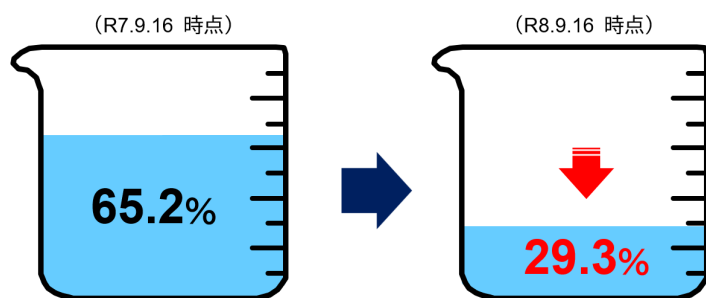
●筑後川の水を利用されている皆様へ『節水』についてお願い

筑後川流域では、梅雨明け以降少雨傾向が続いており、ダム貯水率は昨年の同時期の半分以上まで低下しています。この状況を受け、国土交通省 九州地方整備局は8月20日に渇水対策本部を設置するとともに、9月3日に筑後川渇水調整連絡会を開催し、筑後川からの取水を制限するなど、第2次渇水調整が合意されております。

一方、当企業団においても同日付けで渇水対策本部を設置し、関係機関と連携して対応にあたっておりますが、現在も少雨によりダム貯水率は減少の一途をたどっています。

福岡都市圏の皆さまには、このような状況をご理解いただき、限りある水資源を守るため、日常生活の中でのさらなる節水にご理解とご協力をお願いいたします。

<筑後川水系ダム貯水率の比較>



昨年度の同時期よりも貯水率が大幅に低い状況

(参考)

○水源状況 → <https://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/>

○身近な節水対策

→https://www.f-suiki.or.jp/wp-content/uploads/top/familiar_water_saving2026.pdf#view=Fit

洗たく

- ・まとめ洗いで
- ・ためすぎを中心に
- ・ふろの残り水を使う



食器洗い

- ・じゃ口はこまめに開け閉めを
- ・ため洗いで (油污れのひどい食器は紙などでふき取って)



歯みがき、洗面

- ・じゃ口はこまめに開け閉めを
- ・歯みがき中は、じゃ口を閉める
- ・コップを使って口をゆすぐ



水洗トイレ

- ・トイレの水は使用後の1回に
- ・大小レバーの使い分けを



お風呂

- ・お湯を入れすぎない
- ・わかしすぎない
- ・シャワーはこまめに使用する
- ・入浴後の残り水は 洗濯、ふき掃除、散水に



洗車

- ・お風呂の残り水で
- ・バケツにくんだ水を使う (ホースで水をかけっぱなしにしない)



水は大切に
使いましょう。



福岡地区水道企業団

<当企業団における渇水対応の主な経過>



看板を掲げる名古屋企業長
(令和8年9月3日)

日付	内容
8月 3 日	少雨傾向対策会議を開催(今後の渇水対応を協議)
8月 10 日	異常少雨対策本部を設置
8月 12 日	異常少雨対策本部会議を開催(今後の渇水対応を協議)
8月 13 日	福岡県へ渇水調整を要請
8月 14 日	令和8年 第4回臨時幹事会を開催 (構成団体の部課長で今後の渇水対応を協議)
8月 20 日	第1次渇水調整事項に基づき、構成団体へ自己水源活用や節水啓発を要請
9月 1 日	令和8年 第5回臨時幹事会を開催 (構成団体の部課長で今後の渇水対応を協議)
9月 3 日	福岡地区水道企業団 渇水対策本部を設置
9月 15 日	令和8年 第6回臨時幹事会を開催 (構成団体の部課長で今後の渇水対策を協議)

●節水PR街頭キャンペーン【実施しました】〔9/10(木) 西鉄福岡(天神) 駅〕

筑後川流域では、平年よりも早い梅雨明けとその後の少雨に加え、水需要の増加もあり、平年と比べダムの貯水率が大きく低下しています。限りある水資源の有効利用にあたり、都市圏のみなさまに、より一層の節水を呼びかけるため、『節水PR街頭キャンペーン』を西鉄福岡(天神)駅周辺にて実施しました。冒頭で福岡県水資源対策課清水参事から都市圏の皆さまに向けて、「梅雨明けからまとまった雨が少なく、8月の降雨量は昭和50年以降、最小となり、非常に厳しい状況です。節水へのご協力をよろしくお願いします」と、挨拶があり、その後、国土交通省九州地方整備局・福岡県・福岡市・当企業団の4団体合同で、ティッシュなどの啓発物を配布しながら福岡都市圏の皆さまへ節水のご協力を呼びかけました。



県水資源対策課 清水参事(中央)の挨拶

なお、当キャンペーンは、当企業団の各構成団体においても各地で実施されました。引き続き、節水へのご理解とご協力をお願いいたします。

<総務課 楊>



節水を呼びかける当企業団職員

●令和8年第3回運営協議会【開催しました】〔8/4（火）企業団〕

福岡地区水道企業団の構成団体（6市7町1企業団1事務組合）の首長で構成する運営協議会を開催しました（Web）。今回の運営協議会では、令和8年第2回議会（定例会）に提出予定の令和7年度決算案、条例改正案等について協議が行われ、いずれも原案どおり議会に提出することが了承されました。

＜総務課 後藤＞



Web会議

●令和8年第2回福岡地区水道企業団議会【開催しました】8/28（金）～31（月）企業団議場 外】

企業団議会（議長：大石修二議員、副議長：和田あきひこ議員）の定例会が開かれ、1日目の本会議において、企業長が提出した次の2議案が上程されました。

- ① 令和7年度福岡地区水道企業団水道用水供給事業会計の決算について
- ② 福岡地区水道企業団企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の専決処分について

同日、決算等特別委員会（委員長：今林ひであき議員、副委員長：平井信太郎議員）が設置され、2日目に開催された同特別委員会で、議案について詳細な審査が行われました。

特別委員会終了後、本会議が開かれ、企業長提出議案は全て原案どおり認定または承認されました。

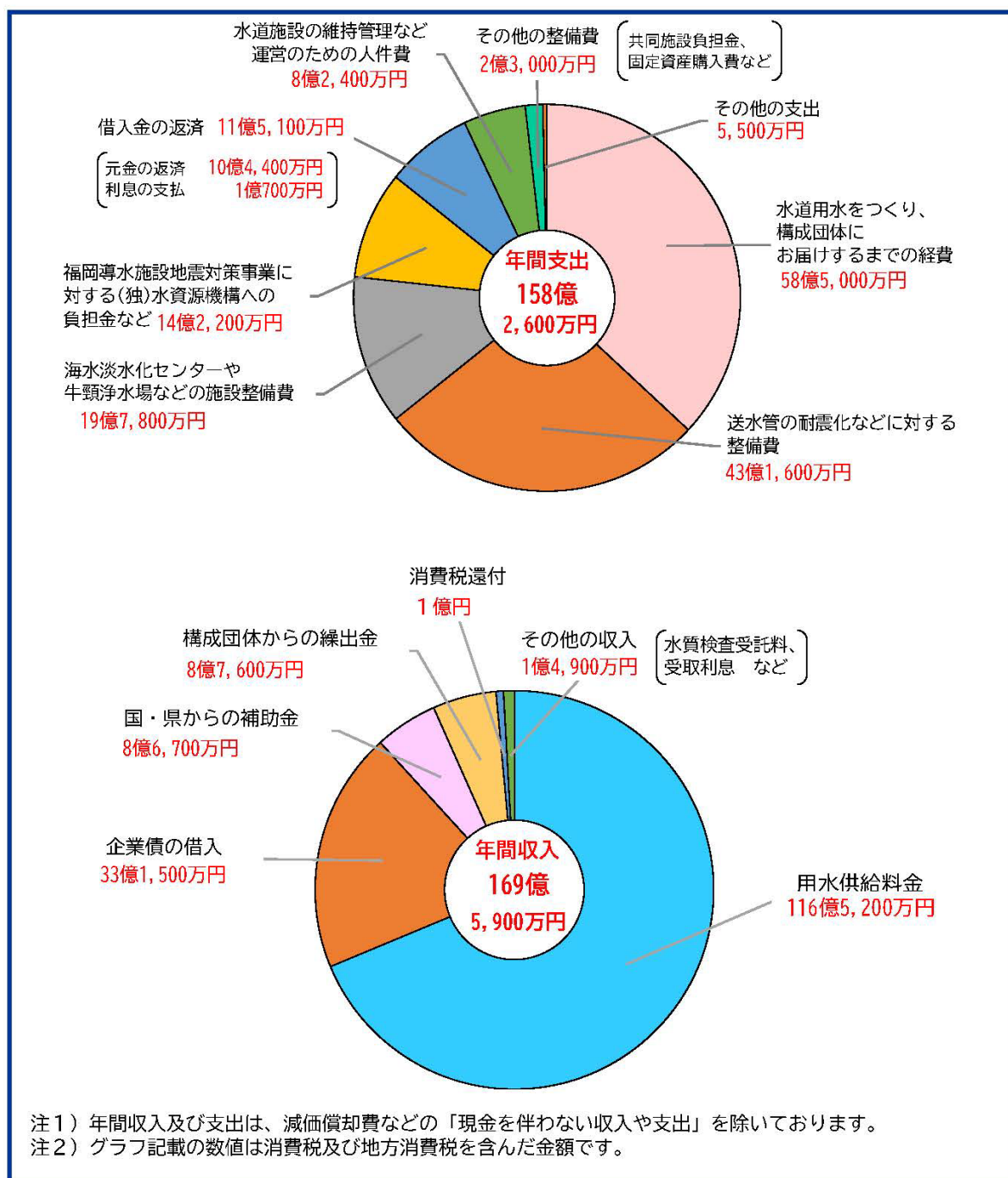
＜議会事務局 森＞



本会議での議案の採決

●令和7年度の財政状況（決算）

用水供給事業については、事業の運営や水道施設の整備、借入金の返済などのため年間158億2,600万円を支出し、用水供給料金などの年間収入169億5,900万円で賄っています。



令和7年度構成団体への供給水量（6市、6町、1企業団、1事務組合）

項 目	令和7年度
年 間 供 給 水 量	87,758,232 m ³
一日平均供給水量	240,434 m ³

●熊本災害派遣報告会【実施しました】〔9/10（木）企業団〕

『令和8年熊本地震』の被災地支援のため、令和8年8月14日から9月3日までの21日間、上天草市へのべ8人の職員を4陣にわたり派遣していましたが、無事全ての任務を終え、全員帰福したため、活動の報告会が実施されました。派遣先では送水施設が被災し、計画断水が実施されていたため、送水管の漏水調査・修繕監督等の業務を行いました。



活動報告する派遣した職員

報告会には企業長の他、職員約15名が参加し、被災家屋や道路・送水管の亀裂、復旧作業中の写真、地図や図面等を交えた説明を受けました。その他、派遣した職員からは「酷暑と余震の中での作業は大変だったが、地元の方々からの感謝の言葉などで逆に元気をもらい、使命感を持ってやり遂げることができた」との感想も聞かれました。

その後、参加者から「もし企業団が被災地となり、支援の受け入れ側となった場合の課題は何か」といった質問があり、災害時の対応について情報共有が行われました。

最後に、企業長から派遣した職員に向け、「多忙の中、快く派遣を受け入れてくれたことで、上天草市をはじめ、他の団体の方からも感謝の言葉をかけられた。皆さんには、今回の貴重な経験を、今後の業務にも活かしてほしい。」と感謝と激励の言葉を述べられ、締めくくられました。

被災地の皆さま、ご支援・ご協力いただいた皆さまに感謝しますとともに、被災地の1日も早い復興を願っております。

<総務課 楊>

■ 水源地域との交流事業

実 施 レ ポ ー ト

●有明海クリーンアップ作戦【参加しました】〔8/18（火）柳川市久間田漁港〕

筑後川の河口に位置する柳川市久間田漁港において、国土交通省筑後川河川事務所が主催する『有明海クリーンアップ作戦』に参加し、清掃活動を行いました。

この取り組みは、有明海の漁場環境保全や漁業被害の未然防止を目的として、有明海沿岸4県（福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県）が連携し、毎年8月に実施しているものです。地元の漁協関係者を中心に多くの地域ボランティア等が協力しており、当企業団からは職員4名が参加しました。

今後有明海の豊かな恵みを守る活動を続けていきます。

<総務課 楊>



ゴミを拾う企業団職員



ごみを集める参加者



参加者と集められたゴミ

●200 海里の森づくり・下草刈り【参加しました】〔9/5（土）大分県日田市中津江村〕

『200 海里の森づくり・下草刈り』は、筑後川上流域の日田市中津江村において、森づくりを通して環境サイクルを復活・改善させ、豊かな水資源を将来に引き継ぐことや、筑後川の恩恵を受ける福岡都市圏の皆さまに水源地域の自然の大切さを知っていただくことを目的に毎年開催されています。

今年は、地元の日田市民をはじめ、福岡市・新宮町・久山町の住民や水道関係者などが参加し、当企業団からも名古屋企業長と職員3名が参加しました。



下草刈りを行う名古屋企業長

下草刈りでは、残暑の厳しい中、職員と参加者の皆さまが汗を流しながら大鎌を振り、背丈ほどまで伸びていた雑草が、みるみるうちに刈り取られ、樹木の成長を促す環境を整えました。その後、交流会が開かれ、筑後川の上流域と下流域の住民同士が、地元で採れた野菜や肉を使って、バーベキューを楽しみながら親睦を深めました。参加した方からは「水は必要で限りある資源だから、分け合って大切に使っていないといけない」という声が聞かれ、森づくりへの理解が深まる一日となりました。

＜総務課 楊＞



刈り取られていく草刈り場



赤星実行委員長による挨拶

9月、10月の予定【開催されます】

●流域連携基金事業「筑後川のめぐみフェスティバル」【開催されます】

〔10/17（土）・18（日）福岡市役所西側ふれあい広場〕

福岡都市圏で使用する水道水の3分の1は筑後川からいただいていることから、水の恵みに感謝し、福岡都市圏と筑後川流域の住民が交流を図り、相互理解を深めることを目的に『筑後川のめぐみフェスティバル』が開催されます。

ステージでは伝統芸能や観光PR、筑後川流域の物産品抽選会などがあり、筑後川流域物産品の産地直送販売では、野菜・果物、菓子、雑貨などの魅力あふれる物産品が並びます。当企業団は福岡市水道局と共同で、水道水・飲む海水・ミネラルウォーターの3種類の飲み比べを行う『利き水』と、海水淡水化センターによる実験コーナーを出展します。2日間で約1万人以上が来場する人気のイベントです。皆さん、ぜひお越しください。



利き水をする参加者（令和7年度）

日 時 令和8年10月17日（土） 10:30～17:00

18日（日） 10:00～16:00

開催場所 福岡市役所西側ふれあい広場

※入場無料

問い合わせ先 福岡都市圏広域行政事業組合 TEL 092-733-5004



筑後川のめぐみ
フェスティバル HP



福岡都市圏 HP



フェスティバル会場（令和7年度）



ステージのくす玉割り（令和7年度）

水資源機構だより

●有明海クリーンアップ作戦 2026 報告

8月18日（火）、有明海クリーンアップ作戦 2026 として、筑後川の河口に近い大川市内及び佐賀市川副町内の河川敷において清掃作業を行いました。

早朝からの活動となりましたが、水資源機構筑後川局、筑後川上流総合管理所及び筑後川下流総合管理所の3事務所より参加した45名一人ひとりが環境保全への意識を持ち、協力しながら作業を進めました。

回収されたごみは、空き缶やペットボトル、プラスチックごみなどが多く、河川や海の環境に対する継続的な取組の重要性を改めて認識する機会となりました。

水資源機構では、今後も河川環境の保全や美化活動に積極的に取り組んでまいります。



参加者



ごみを集める職員

■水源地域の主なイベント 【お出かけください】

9月、10月の予定

●第30回棚田 in うきは彼岸花めぐり〔9/20(日)~22(火・祝)うきは市つづら棚田地区〕

(うきは市から情報提供いただきました)

毎年50万本の彼岸花が、全国棚田100選に選ばれた『うきは市つづら棚田』を飾ります。また、棚田のある新川地区は、『伝統的建造物群保存地区』として指定されており、茅葺^{かやぶき}民家が数多く残されています。真っ赤な彼岸花と黄金の稲穂のコントラスト、茅葺民家との古き良き日本の原風景を楽しむことができます。

さらに当日は、地元ならではの特産品やおいしい棚田米の販売も行う予定です。

秋のさわやかな風を感じながら散策を楽しんでみませんか。



美しいつづら棚田

日 時 令和8年9月20日（日）～22日（火・祝） 9：00～16：00

開 催 場 所 うきは市浮羽町新川棚田群

※公共交通機関はございませんので、自家用車でお越しく下さい（駐車場には限りがございます）

※期間中は一方通行にご協力をお願いします

問い合わせ先 うきは市商工観光振興課 TEL 0943-76-9029

※詳しくは、右の二次元バーコードから特設ページをご覧ください



うきは市 HP

●高塚愛宕地蔵尊 秋の大祭〔9/20(日)日田市天瀬町〕

（日田市から情報提供いただきました）

合格祈願の名所として知られている高塚愛宕地蔵尊にて、秋の大祭が開催されます。神楽殿での伝統ある庄内神楽の奉納、境内での福引きや紅白餅の配布の他、参道の露店を活用した『段段露店』、キッチンカーの出店など、さまざまなイベントが開催され、多くの参拝者が訪れます。

境内には、祀られた多くの地蔵や、手を置くと願いが叶うという『恵の玉』、樹齢千年余りのイチョウの御霊木など見どころもたくさんあります。秋の清らかな空気の中、この機会にぜひご参拝ください。



庄内神楽の奉納

日 時 令和8年9月20日（日） 8：30～15：00

開 催 場 所 高塚愛宕地蔵尊（日田市天瀬町馬原 3740）

問い合わせ先 高塚愛宕地蔵尊 TEL 0973-57-9200



高塚愛宕地蔵尊

●高良大社例祭(高良山くんち)〔10/9(金)～11(日)久留米市御井町高良大社〕

（公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会から情報提供いただきました）

高良大社の例大祭の中で最重要儀である高良大社例祭(高良山くんち)は、江戸時代に久留米藩主の参拝があったとされる由緒あるお祭りです。9が重なる旧暦9月9日は『重陽』^{ちょうよう}といわれ、吉日とされているため、この時期に合わせて開催されています。

秋の特別公開として、『高良大社宝物館』にて高良山最古の古文書を修理後初公開いたします。2日間限定のイベントとなっていますので、ぜひ足をお運びください。



獅子舞の奉納

日 時 令和8年 10 月 9 日 (金) 10:30～ 例大祭
10 月 10 日 (土) 10:30～ 崇敬会 大祭
※秋の特別公開は両日ともに 9:30～15:00



久留米市公式 HP

開 催 場 所 高良大社 (久留米市御井町 1)

問い合わせ先 高良大社 TEL 0942-43-4893

●秋の民陶むら祭 [10/10(土)～12(月・祝)東峰村]

(朝倉郡東峰村から情報提供いただきました)

春と秋の年 2 回開催される小石原地区最大の陶器市です。絵付け体験などのイベントも開催され、全国から多くの陶器ファンが集まります。約 40 の窯元が窯開きを行い、期間中は普段より安い価格で販売されます。お気に入りの陶器を見つけに、ぜひお出かけください。

日 時 令和8年 10 月 10 日 (土) ～12 日 (月・祝)

9:00～17:00

※窯元により営業時間が異なります

メ イン 会 場 小石原焼伝統産業会館

(朝倉郡東峰村大字小石原 730-9)

※駐車場はありますが、「民陶むら祭」期間中は渋滞が予測されますので、

時間にゆとりを持ってお出かけください

※無料シャトルバス運行予定です。詳しくは東峰村 HP にてご確認ください

※イベントは内容により会場が異なります。詳しくは東峰村 HP にてご確認ください

問い合わせ先 民陶むら祭運営委員会 TEL 0946-74-2121



民陶むら祭 チラシ

●北野天満宮秋季大祭(北野くんち)〔10/18(日)久留米市北野町北野天満宮〕

(公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会から情報提供いただきました)

学問の神様『菅原道真公』をご祭神としてお祀りする北野天満宮の秋季大祭です。北野天満宮には菅原道真公と河童についての伝説があり、現在でも『カッパの手』が宝物として保管されています。県の無形文化財に指定されているこの秋季大祭『北野くんち』では、河童の化身である風流師^{ふうりゅう}が行列の先頭を務め、その後に稚児風流、大名行列を模した奴隊^{やつこたい}、最後にご神体である鏡をのせた御神輿が続き、下宮までの約2Kmをくだります。



稚児風流

日 時 令和8年10月18日(日) 9:30~16:00

開催場所 北野天満宮(久留米市北野町中 3267)

問い合わせ先 北野天満宮社務所 TEL 0942-78-2140



久留米市公式 HP

●恵蘇八幡宮 神幸祭〔10/18(日)朝倉市 恵蘇八幡宮〕

(朝倉市から情報提供いただきました)

恵蘇八幡宮の秋祭りで、農作物の豊作を祝います。神幸行列は神輿^{みこし}の他に二組の獅子舞と毛槍が加わります。いずれも昔からの形式を守り続けた結果、二通りの形が現存します。形状も舞も全く異なっており、静と動、勇と雅の対照的なふりで見応えがあります。

『山田区の荒獅子』は荒々しく早い動きで、雌雄の獅子が互いに噛み合って充足した後、愛情を表す様を描いています。

『本きば』と『半きば』の2つの舞があり、後者は前者を半分にしたもの。家々の前では『半きば』を舞います。

『恵蘇宿区の獅子舞』は、笛、太鼓による獅子楽に合わせて舞うもので、雌雄の獅子の恋愛の様を細やかに表現しています。『もわかれ』と『のり』の2つの舞があり、2部構成になっています。

御神幸にお供する二対の獅子頭は県指定有形民俗文化財となっています。



山田区の荒獅子



恵蘇宿区の荒獅子

日 時 令和8年10月18日(日)

場所：恵蘇八幡宮

10:30～ 祭典(神事)

11:00～ 筑紫舞、浦安の舞

13:10～ 獅子舞の奉納

13:30～ 御神幸行列(毛槍・御神輿)

場所：隠家森(下宮)

14:10～ 祭典(神事)・筑紫舞、浦安の舞、獅子舞の奉納

15:10～ お上り

開催場所 恵蘇八幡宮(朝倉市山田166)

問い合わせ先 恵蘇八幡宮 TEL 0946-52-0557



恵蘇八幡宮神幸祭

ひなしろ ●蜷城おくんち〔10/21(水)朝倉市 林田・美奈宜神社〕

(朝倉市から情報提供いただきました)

毎年10月21日に美奈宜神社(林田)の神幸祭が行われます。

祭りに奉納される獅子舞の特徴は、筑前地方に多い伎楽系統の獅子舞とは違って、舞楽を伴わず、芸術的な要素が少ないところです。子どもたちの頭をかむと病気を除き、獅子が勇猛に暴れば豊作になるというような信仰に、祓いの獅子の姿がよく伝えられています。この系統の獅子は、筑後川中流の両岸各地に



蜷城獅子舞

伝承されたものですが、現在に至るまで本格的な形を残しているのは、この蜷城のものだけです。

神幸祭は秋月種時(秋月氏14代)が永正6(1509)年に社殿を再興した際に神輿や旗を奉納して以来、無病息災と五穀豊穡祈願の祭りとして受け継がれてきたと伝えられます。

昭和53年3月25日、長田・鵜木の獅子舞を一括して保存し、両者を合わせて県指定無形民俗文化財とされました。

日 時 令和8年10月21日(水)

10:30～ 神事

13:30～ おくだり

開催場所 美奈宜神社(林田)(朝倉市林田210)

問い合わせ先 美奈宜神社(林田) TEL 0946-22-5358



蜷城おくんち

●^{みなぎ}三奈木 おくんち〔神事 10/22(木) 御神幸祭 10/25(日)朝倉市 ^{みなぎ}美奈宜神社 (荷原) ^{いないばる}〕

(朝倉市から情報提供いただきました)

10月22日以降の最初の日曜日に美奈宜神社(荷原)の秋の大祭(おくんち)が行われます。

祭りに奉納される御神幸行列は、朝倉市指定無形民俗文化財です。

御神幸行列の中の羽熊の振込みは参勤交代を模したもので、参勤交代が定められた寛永12(1635)年以降のことと推測できます。祭りに使用されていた面に文政9(1826)年の記述がありますので、その頃にはこの行列も成立していたと考えられます。

御神幸行列が参道を下り、寺内橋をゆっくりと優雅に渡るあたりがもっとも良い見どころで、その姿は秋空と佐田川の清流、山々の緑によく映えて見物の人々を魅了します。



御神幸行列

日	時	令和8年10月22日(木) 10:00～ 神事
		令和8年10月25日(日) 13:00～ 御神幸祭(おくだり)
開催場所		美奈宜神社(荷原)(朝倉市荷原 2417-1)
問い合わせ先		美奈宜神社(荷原) TEL 0946-22-7431



三奈木おくんち

水源情報

企業団ホームページの水源情報 (<https://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/>) は、毎日（土日祝を除く）最新情報に更新しています。

アドレスを
クリックすると
『水源情報』が
載っています。
見てね！！



ホームページ画面

★ 構成団体の皆さまからの情報をお待ちしています！！

「ふくすいき～福水企～」通信では、今後も構成団体の皆さまの情報を掲載していきたいと思っています。皆さまの周りでも、お知らせしたいことや紹介したい取り組み、イベント情報、ご感想、ご意見などありましたら、ぜひ、ご連絡ください！！
よろしくお願いします。

～ 情報を提供していただく場合 ～

掲載希望前月の末日までに、原稿を下記へメール送信してください
福岡地区水道企業団総務課交流広報係 kouhou@f-suiki.or.jp

たくさんの情報提供を
お待ちしております！！



福岡地区水道企業団では、企業団ホームページや SNS〔X（旧 Twitter）、Facebook、Instagram〕を通じて、企業団が行う事業や取り組み、水源地域や流域で行われるイベント等をわかりやすく情報発信しています。

ホームページの記事や SNS で発信した情報について、面白い、役に立ったなどと思われた方は、ぜひ SNS の機能（リツイートやシェアなど）を使って、多くの方に情報を届けていただければ幸いです。

福岡地区水道企業団の電子広報媒体（ふくすいき除く）		二次元コード
企業団ホームページ [アドレス] https://www.f-suiki.or.jp/		
SNS	X（旧 Twitter）	
	Facebook	
	YouTube	
	Instagram	